

広報 なかわだ

2014 年 5月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北 1 丁目 9-1
Tel/Fax (045) 803-6141

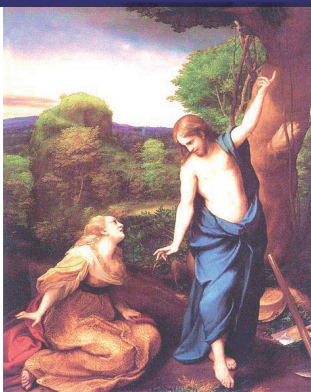
<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

2014 年 5 月 4 日

5 月の予定

第 411 号

教会委員会	11 日 (日)
信徒の会 例会	18 日 (日)
子どもミサ	25 日 (日)



Jesus and Mary Mgdalene (Antonio da Corregio, 1534)



着任の挨拶

フランシスコ・ザベリオ 日野 武満 神父

我が主イエス・キリストの御復活祭を心よりお祝い申し上げます。

横浜教区は今年度 2014 年春に大規模な司祭異動が行われ、3 月中と復活祭後の二期にとの司教様の発表でした。中和田教会と三浦海岸教会は交代ということになりました。

小林神父様とは静岡県東部の地区の宣教司牧で良く存じておりました。私は三浦半島の教会（大津、三浦海岸）で 24 年間の宣教司牧で司祭職の半分の時代を送り、神奈川、静岡、長野の教会で 24 年を過ごしましたが、横浜市の教会は初めてですので大都市の横浜を良く知りませんので、よろしくお願いいたします。教区第五地区の教会とも協力して頑張っていきたいと思っています。

4 月 6 日（四旬節第五主日）に初めて中和田教会を訪れて応接室に案内され代々の主任司祭の写真を見て中和田教会の土台を築き種を撒いてくださったことを思い浮かべました。

1982 年故荒井司教様から大津教会 11 年目に中和田教会転任命書をもらいましたが、その年に故濱尾司教様に異動解消となり、この度再び任命となり主のみ旨と感じました。



典
礼
こ
よ
み
(
五
月
)

日	曜	典 礼	ミ サ	備 考
2	金		初金ミサ (10 時)	掃除
3	土	聖フィリポ聖ヤコブ使徒	祝日ミサ (18 時)	
4	日	復活節第 3 主日	主日ミサ (9 時)	
10	土		主日ミサ (18 時)	掃除
11	日	復活節第 4 主日	主日ミサ (9 時)	
14	水	聖マチヤ使徒	祝日ミサ (10 時)	
17	土			掃除
18	日	復活節第 5 主日	主日ミサ (9 時)	
24	土			掃除
25	日	復活節第 6 主日	主日ミサ (9 時)	子どもとともに捧げるミサ
30	金	聖母の御訪問	祝日ミサ (10 時)	
31	土	四旬節第 4 主日		掃除

～ 中和田の風 ～

○ 居 場 所 ○



現在十九歳。義務教育が終わってはや四年たち、とても憧れていた高校を卒業し一年が過ぎました。あと半年ほどで、今度は選挙権がもらえます。お酒も飲めるようになります。自分自身は一日一日同じ幅ずつ成長していくわけなので、大人になるということにあまり実感がわきません。

そんな中、最近よく考えることがあります。それは、“居場所”についてです。

私は一年間の浪人生活を経てこの春大学生になりました。この一年間は本当に辛いことばかりでしたが、予備校で出会った友達や価値観の変化など得るものも大きい、そんな一年でした。居場所と聞いて、みなさんは何を思うでしょうか。家族、仕事場、学校・・・思い浮かぶものは十人十色で、一つ一つがその人の大切な一部分だと思います。その中で自分の居場所と聞いて『教会』が出てくる人はいったい何人いるのでしょうか。よく、教会を居場所に、みんなの集いの場に、安らぎの場に、など共同体の意味をもつ言葉による説明を目にします。

しかし中には、個人として教会に行き、共同体としてよりは集合体としての価値を大切にしたい人もいます。大切なのは個人の信仰である、ということです。確かに、無理に教会を自分の居場所と位置づける必要はありません。人それぞれでいいのです。

そもそも教会とは、現代社会ではとても珍しいものだと思います。それは、信仰という信念を同じくした者の集いだからです。信じるとは難しいことです。異なる宗教の人に、はたまた隣にいるクラスメートの友達に、教会を、そこに通う意味を、説明するのはとても難しいことです。理解されるのはもっと難しいかもしれません。私と同世代の人は特に、みんなリアリズムで合理主義です。一つの信仰を大切にし、同じ信仰を持つ人と分かち合い、支えあうことができるのは、とても幸せなことなのではないかと私は思います。

高校を卒業し、当たり前にあった学校という居場所をなくし浪人した私にとって、家族と教会だけが変わらぬ居場所でありました。人それぞれ、教会に対する思いや考え方は違います。しかし、私にとって教会は、とにかく安心できる場所であり、励ましてくださるたくさんの人たちの声が私の支えでした。

今、小中学生のいじめによる自殺など悲しい事件が後を絶ちません。それは、子供にとって学校という居場所がとても大きな役割を果たし、学校における自分を、自分の価値そのものだと思っているからなのだと思います。日中のほとんどを過ごす学校は、子供にとっては自分の全てといっても過言ではないのです。だからそれが否定されたとき、孤独と恐怖と悔しさで死にたいと思うほど思いつめてしまうのです。私自身、小学校時代は友達関係でとても苦労しました。小学校四年生という中途半端な時期に転校したことも重なり、苦しい思いもたくさんしました。しかし、私にはもう一つ大切な居場所がありました。家族はもちろんですが、教会学校という、もう一つの居場所です。当時は私と同年くらいの女の子もたくさんいて、教会でみんなと会う間は違う自分でいられたし、悩み苦しむ自分とは決別できました。私は、今の子供たちにも同じように安らげる一つの居場所として教会学校の存在があってくれればいいなと思っています。



何か学校でつらいことがあっても、自分の居場所は一つじゃない、自分を好きでいてくれる友達が教会にはたくさんいると思えば、それはその子にとってとても大きな支えになります。異なる地域に住み、異なる学校に通っていても、背負う悩みや苦しみは同じです。だからこそ、お互いに打ち明けあい、認め合うことができると思います。同じ信仰を持つカトリック信者として中和田教会に集うこどもたちにとって、新たな自分の価値観を認め、互いを思いやり、安らげる場所に教会になることを願い、これから教会学校にかかわっていきたいと思っています。

(森脇 留美)

小林神父様、いつまでもお元気でご活躍ください (於 復活の主日)



家族で同じ道を歩むことを目指して



先日のご復活にて、次男章裕が洗礼を授かりました。幼児洗礼を受けるにあたって、両親の心構えを講じる勉強会を小林神父様が開いてくださり、その勉強会を通して、10年前、私自身が入信した時の決意を思い出しました。

受洗前の私は、主人や母に「クリスマスだからごミサにおいで」と誘われて勤務後教会へ行っても、緊張してお御堂のドアを開く事すら出来ませんでした。疎外感を感じていたのです。私がそのような状態でも、主人はほぼ毎週教会へ…「将来、子供が生まれても日曜日に父親を送り出して家族別々の時間をすごすのだろうか…」未来への漠然とした不安。休日を家族一緒に過ごす為にはどうすれば良いか…。

そう悩んでいた頃、母に勧められ参加した聖書の勉強会。参加していた方の「生きていく上で自分の芯となる考えを求めて参加した」との言葉に共感しました。自分の理想とする生き方、家族像が見えた気がしたのです。『主人もカトリックの中に自分の芯となる考えを見つけている。私も悩み、迷った時に立ち返れる芯となる考えを同じ場所で見つけよう。カトリックを外から見るのではなく内から一緒に同じ目線で見てみよう。』…そう思い入信を決意。2004年のご復活にて受洗しました。

その後恵まれた長男、長女も受洗。今年は章裕の番でした。章裕の代父にどうしても従兄の保科貴大君を！という思いを小林神父様にご相談したところ、快く承諾してくださり、保科家と合同の勉強会を開いてくださいました。内容は幼児洗礼の手引きの音読と分かち合い。幼い子供達が走り回る中始まった音読でしたが、頁が進むにつれて、離れて遊んでいた子供達が隣に座りはじめ、耳を傾け、こころを傾け…一つの輪になり、お祈りをしている時のような心の安らぎを感じられ、貴重な時間を過ごす事ができました。

ご復活当日、ミサ中の幼児洗礼式で章裕は堂々と熟睡!(笑)。滞りなく式は終了。ミサ後には、沢山の方から「おめでとう!」と声をかけて頂き、幸いに思っています。



家族全員が受洗し、信仰生活におけるスタートラインにやっと立てた気がします。第1・第2・第5日曜は、主人が典礼委員として委員会活動。第3・第4日曜は要理学校。毎週ミサ後に役割があり忙しい週末ですが、働く父親の姿を子供達が間近で見る事ができ、何より家族全員が神様の前で一つになり、同じ道を歩んでいるこの時間の尊さ。幸せを感じています。毎週教会に来ると皆様に声をかけて頂き、陸洋や実乃莉にとって中和田教会は【第2の家】のような存在かも知れませんね。『アーメン』というパチンと手を合わせる様になった章裕。場所見知りの彼も少しずつですが、教会に慣れてきているようです。私自身、受洗から10年が経ち、ようやく疎外感からは解放されましたが、まだまだ不勉強。子供達と共に神様の教えを学んでいくつもりです。どうぞ私たち家族をこれからもよろしく願います。

(大宮 ひとみ)

バザー実行委員会報告

今年は、バザー委員会を組織してそこで方向付けや運営を行うことになっています。3月30日(日)に13名の出席でその第1回目が開かれました。各委員から過去の経験に基づく様々な意見、反省、提言が出され、活発な議論となりました。主要な決定事項は下記の通りです。

まずいつも女性中心なので、たまには男性がやるようにと岩渕(英)が実行委員長に選ばれました。経験豊富というわけにはいきませんが、頑張りますので、皆様宜しくお願い致します。バザーの開催日は従来どおり、10月最終日曜日の26日となりました。全体的には従来型で実施しますが、負荷のかからない方法を模索します。また盛り上げるため新しいやり方も試みることにしました。例えば、フリーマーケット方式の一部併設、ビンゴ等子供も楽しめる催し、オークションの実施、バザー券の抽選方法の工夫などです。バザー券は従来の200円券から500円券に変更します。また食券をやめて現金販売にすることも検討することとなりました。

食事はちらし寿司など、用意が簡単で、持ち帰り用にパック詰めしやすいものを基本にし、手のかかるカレー、焼き鳥、おでんは実施しないこととしました。従来から実施してきた古着・新品不用品、制作品、バザー券、焼きそば、春巻き(ベトナムの方々に依頼)、ケーキ(紅茶はなし)、委託品販売(別途募集)に加え、新しくちらし寿司、お惣菜、豚汁、フランクフルト(子供達に焼いてもらう)も実施します。

古着、新品不用品、制作品は既に集め始めていますので、皆様宜しくお願い致します。また準備、実施にあたっては力仕事も多いので、男性の協力を仰ぐこととしました。

フリーマーケットや委託品、売れ残りの処理、バザーを盛り上げる方法等、課題は色々ありますが、一つ一つ検討して行きたいと思います。今後は、原則月一回第4日曜日に定例会を開催します。楽しく有意義なバザーにするため、皆様の御協力を宜しくお願い致します。

(岩渕 英介)

畑グループより



畑グループは中和田教会が建てられた当初から横の空き地を地主さんに無償で貸していただいて開墾を始めて以来、畑仕事が好きで仲間が自然に集まって花と野菜を栽培してきました。この度畑グループの活動報告をというお話があったので、日曜ごとに販売している採りたて野菜の収益金の使途や畑グループの活動について簡単にご報告致します。

第一に野菜の種、苗、肥料代等に充てています。第二に庭の花を祭壇に飾っていただけよう苗の購入に充て、冬以外は季節の花を切らさないように努めています。第三に水道代として年間3万円を教会に支払っています。その他として売上金を少しずつ何年もの長い期間プールしてきましたので、2011年のリフォーム時に「キリスト復活の十字架像」を寄付いたしました。これからの目標はまた売上金をプールして教会の為に何かお役にたてられたらと考え活動しています。

共同体の皆様にはより安全な野菜を買っていただくために化学肥料や消毒剤は使っていません。堆肥は米ぬか、酒粕落ち葉、牛糞、鶏糞などを調合したものを使用し、消毒は薄めた酢や焼酎やタバスコを薄めたものを使うなど愛情込めて栽培しています。そのためか市場に出回る野菜より自然の甘味があって美味しいとの評判もいただいています。

今後とも畑グループの新鮮な野菜を買っていただき、畑グループを応援してくださいますように！

楠田恵美子

委員会だより

(文中敬称略)

△4月13日(日) 13名出席▽

■報告事項

5月スケジュール確認(日野神父様に確認後確定する)

■各グループからの報告

●典礼(大宮(智))

・5月4日(日) 典礼委員会にて日野神父様を迎え典礼に対する意向、土曜日の主日ミサ等、神父様に確認の上決定する。

●財務(甲斐)

特に報告事項なし

●宣教(井上)

・サマーキャンプ8月8日(金) 10日(日)

↓星美ホームの使用規約が変更になり、自炊、寝袋・シーツ等持参になった。

自炊については下見をしてから最終的に決める

指導司祭：ブランチフィールド神父(鍛冶ヶ谷教会)

・湘南キリスト教セミナー ↓秋に向けてテーマ及び講師検討中

・一粒会↓祈りのリレー、中和田教会5月担当、共同祈願に召命の祈りをする。

・中高生会↓3月29日(土曜日)新中学生を迎え、神父様の送別も兼ねて行った(12名参加)

・堅信式に向けて↓堅信の勉強4回終了した。復活祭主日のミサで紹介するので大人たちは励ましの

言葉をかけてほしい

●要理(大宮(ひ))

・4月27日(日) 子供のミサ後に要理の子供たちを日野神父さまに紹介する。

・5月18日(日) 運動会参加のため子供たちは不在になるので侍者をお願いします。

●福祉(楠田)

特になし

●総務(岩渕(英))

引越し作業の確認

●地区割り(案)について

人数、活動可能な人数に偏りがないう地区の繋がりも配慮しながら3地区制を検討した。↓中田近隣地区を中央とし残りを南北に分割して3地区とした。

第1地区(北)：ナザレト
第2地区(中央)：ベトレヘム
第3地区(南)：エルサレム

↓承認。結果を公示し、意見を頂いた上で確定する。今後行事、そうじ当番、各委員・委員長の推薦等への活用を検討していく。

●広報(今井)

原稿依頼(締切4月23日)

●行事(岩渕(洋)・武石)

・復活祭パーティ：前日の卵の準備等、神父様送別会について段取りなどの打ち合わせ
来年度から卵は個人がゆでて持つてくることなど提案したい

■討議事項(上野)

・災害対策：2013年6月16日

に開催された臨時信徒大会での意見交換を受けて委員会でも再考し、更に各委員に意見書を提出してもらったところ以下の3点に意見が集約された。

①信徒数減少、高齢化により支援要員の集合が難しい。

②地域で公的支援体制があるので必要ないのではないか。

③ポンプを導入するなど100万円超の予算はかかりすぎる。よって今回の災害対策は見送りとする。

■神父様のお話

・4月20日：復活祭主日ミサにて大宮章裕ちゃんが幼児洗礼を受けます。洗礼名はフランシスコ・アシジ(予定)

・神父様の閉会の祈りで祝福して頂きました。

以上

次回委員会 5月11日(日)

教会からのお知らせ

■訃報

パウロ 東原秀夫さん

4月27日に帰天されました
謹んでご冥福をお祈り申し上げます

